

# 星屑

No. 281  
1998 Aug.



## 「昇る夏の星座」

6月18日 0:00~0:20

G-400 3.5

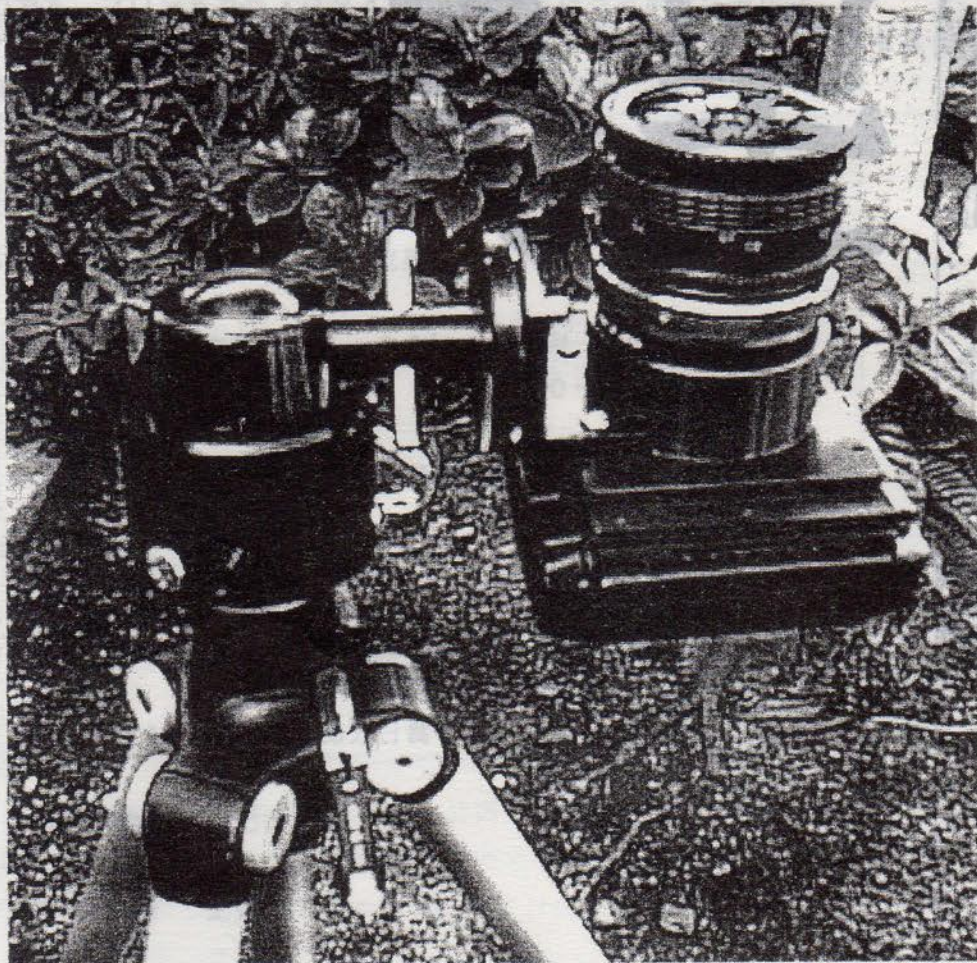
吉無田高原にて

熊本県民天文台



## 円形魚眼アストロカメラ・プラネットXRB

天文台恒例テストレポート

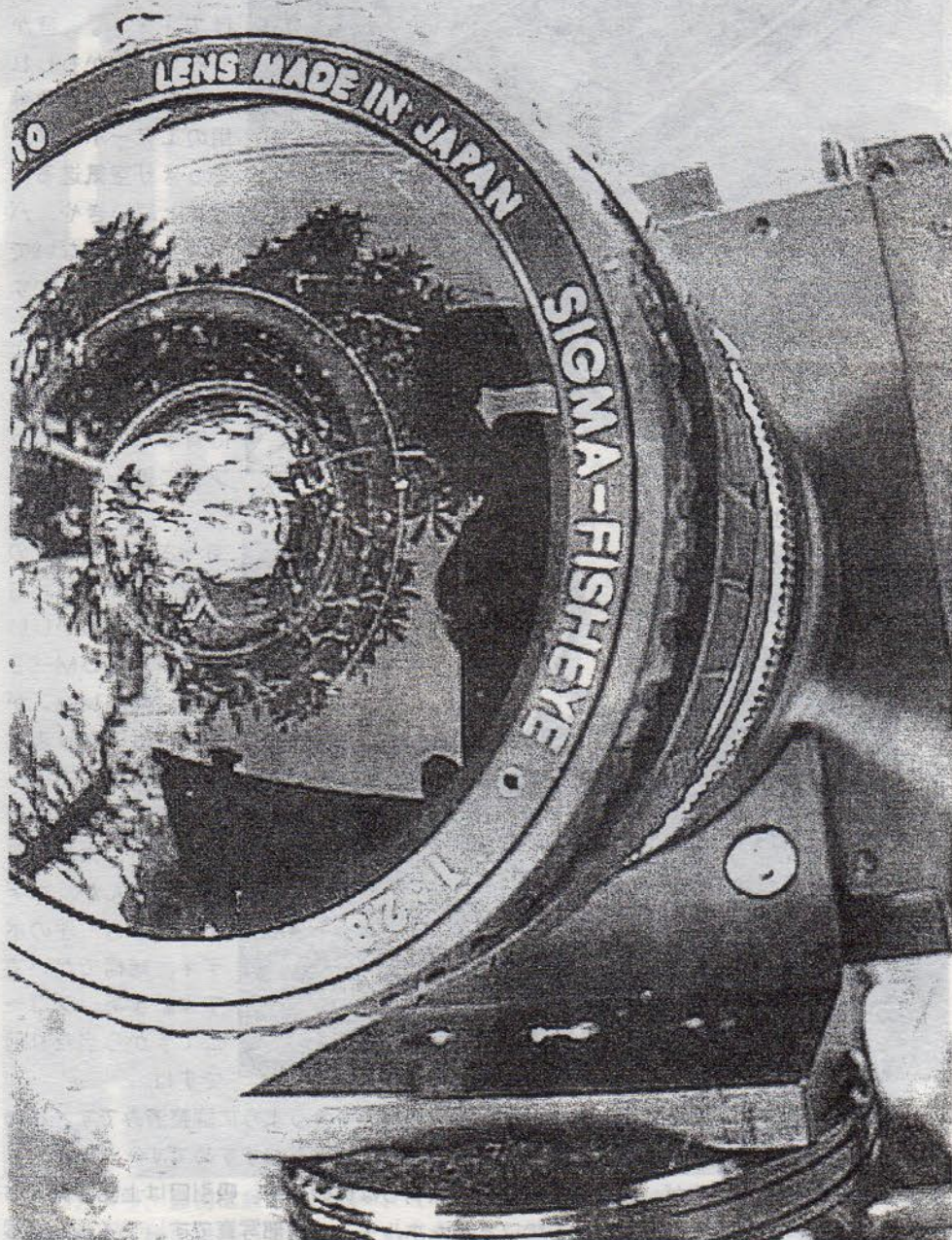


三脚に取り付け、表紙撮影時の再現写真 レンズを真上に向けての撮影

やっと梅雨明け、夏の銀河はすぐそこです。最近はCCDカメラが重宝がられています  
が、表紙のような写真はまだまだ。フィルムを入れて、巻き上げレバーを回し、レンズの  
横には桐灰カイロ。そしてシャッターの代わりに黒く塗ったうちわ。あっと、リリースも  
お忘れなく。技術のある方は、さらに裏蓋改造で吸引方式に……。懐かしい！！と感じ  
た貴方、さあ、もう一度天体写真はいかがでしょうか。今回紹介するこのカメラ、天体専  
用カメラ（全天カメラというそうです）ですので、普通のカメラとはえらい違いが。この  
カメラ、レンズは35mmの対角魚眼のレンズを使用し、フィルムはなんとブローニを使用。  
ファインダーも無ければシャッターなんて物は無い（いや、うちわがシャッターとで  
も言うべきか？）とにかく、ぐるり360度撮れてしまうこのカメラ、じっくり見てみま



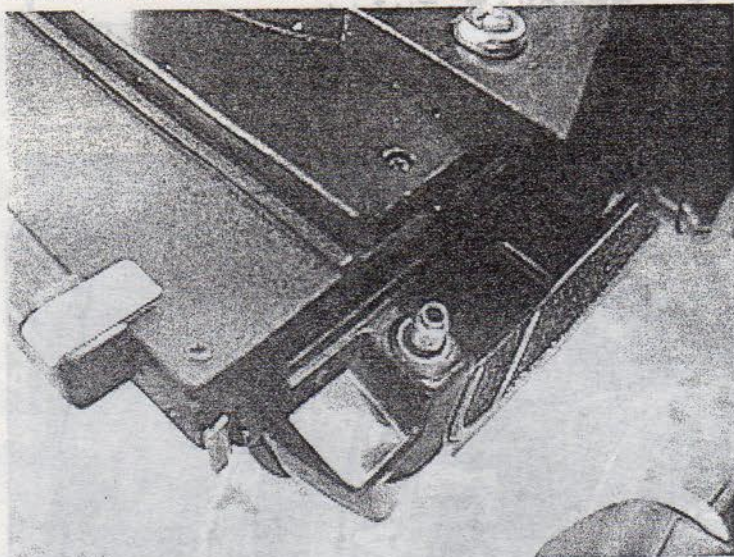
しょう。このレンズ、メーカーはシグマ、キャノンFDマウント仕様です。まあ、まあるいレンズを見て下さい。あ～、撮影中の私も写っている！！



レンズの性能は、 $f = 16\text{mm}$   $F1:2.8$  元は対角魚眼レンズ仕様の為、パーフェクトフードが固定されていたが、円形撮影用に取り外されている。FISHEYEの文字横に穴が一。絞りは $F2.8$ から $F22$ まで。レンズ構成は8群10枚である。最短撮影距離は0.15mとなっているがこのカメラ、ファインダーとシャッターが無い・・・。

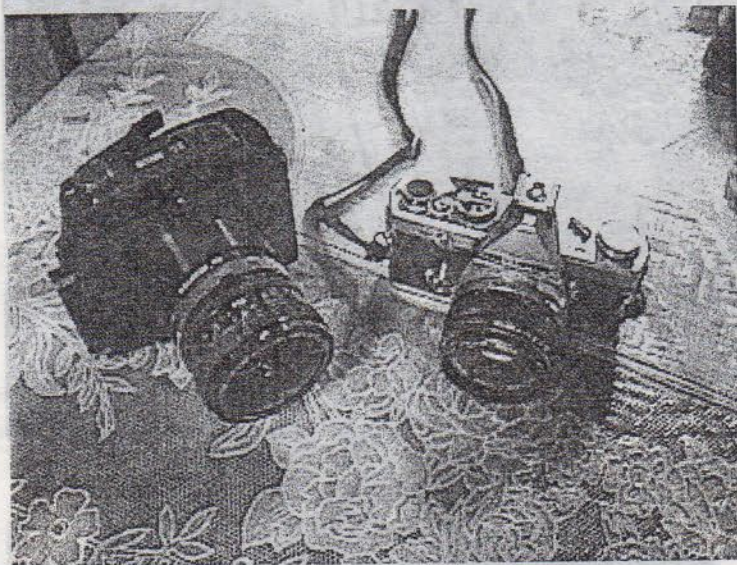


まあ、天体写真専用なのだから、余計な物は一切無し。でも、吸引用の取り口はしっかり



ありました。ここに吸引パイプを取り付けて……。昔からあったのかもしれませんが、熱帯魚専用のエアープンプ、てっきり空気送るだけかと思いきや、パイプを逆につないで吸引ができたんですね。しかも、野外での仕様もばっちりな乾電池式。うーん家に有ったのはコンセントに差し込む方式

だったのに一。世の中便利になったものですね。

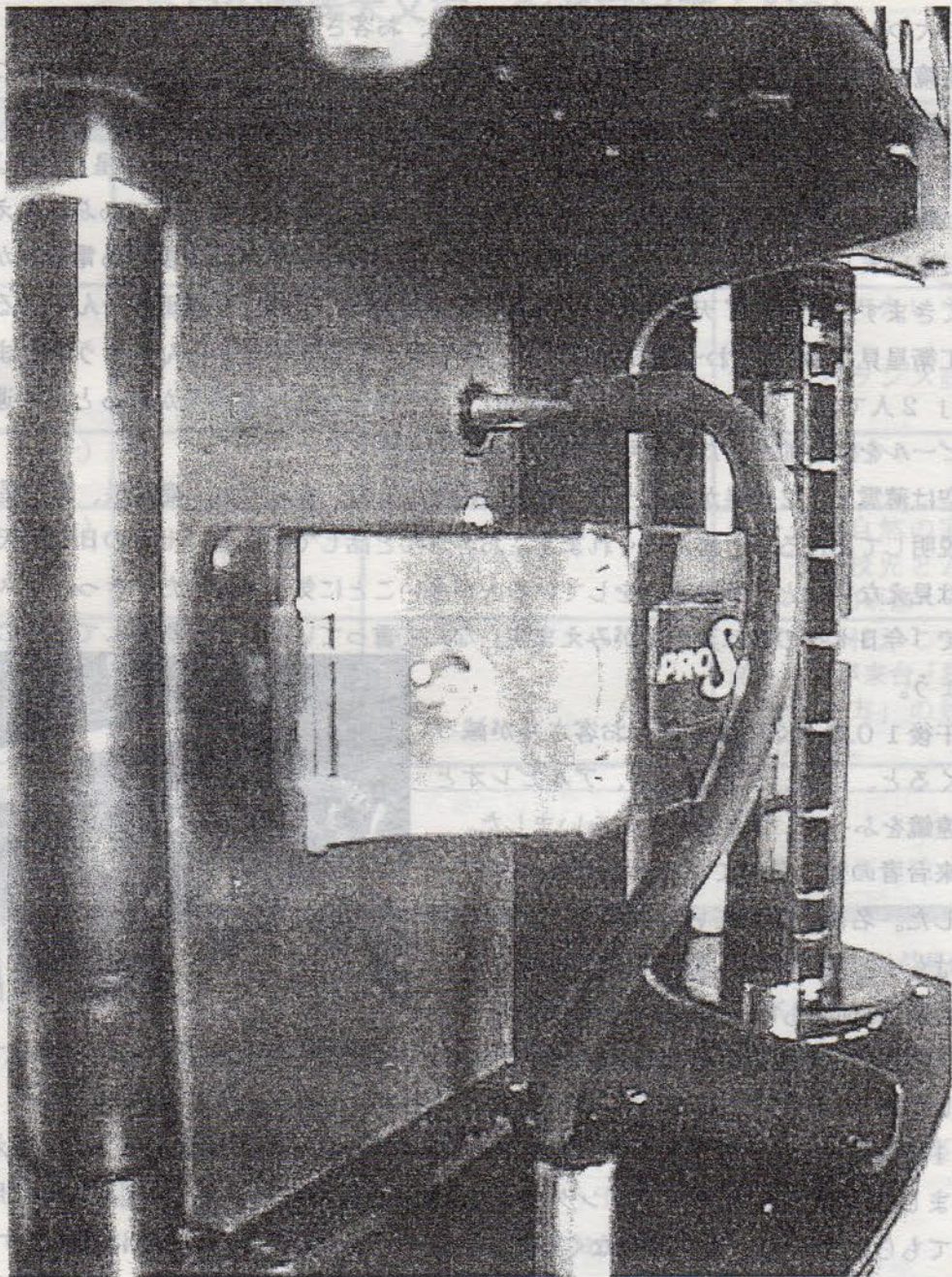


あーさて、大きさの比較なんですが、右のカメラ。懐かしいオリンパスOM-2です。標準レンズが取り付けられています。レンズの大きさは、どちらも35mm用ですから、大して変わりませんが、ボディの大きさ、左のボディ、結構でかいですよ。まあ、ブローニですから当たり前ですね。

ピントは、裏紙外して吸引したときに、レンズは無限大で合うように調整済みです。私のように不精者の方はピント出しに苦労しませんので、とってもおすすめです。

さて、その吸引方法ですが、裏蓋みても最初全然判らないのです。吸引口は上記写真でお判りでしょう。んでもって、次ページのフィルムホルダーの内部写真です。フィルムは写真左側から外に出て、画面右に戻ってきます。35mmのカメラとは、フィルムの走る方向が逆ですね。画面中央にあるのが内部の隙間を上手く潜ってきた吸引パイプです。ここから更に裏蓋へと伸びていきます。最後に裏蓋ですが、何回もデジタルカメラにて撮影したのですが、フィルム吸引用の穴が、写らないのです。(記事にならない!!)





このカメラ、最初は魚眼は、ね～、ぐらゐの見方だった。けど、円形魚眼の作品を見て  
 いるうちに、妙に撮影したい！！という気持ちが起こってきた。丁度その時に梅雨の晴れ  
 間が。とってもタイミング良く撮影できた。のだが、実は7カットほど撮影している、が  
 雲が流れてきたりと、まあ何とも難しい。頭を北に、水平だして、なーんてはいかないの  
 である。今年もあと半年、あと何回撮影に出かけるのかな！！次回しし座流星群までには、  
 少しは上達すればよいのですが・・・（ほんとに撮影に出かけるのだろうか？）。



会社を終えて、天文台に向かうと、すでに艶島さんが先に来ていて、お客さんの相手に大わらわでした。自分も観測室にあがると、お客さんの整理をしながら、41cm望遠鏡で月齢13の月を見せてあげました。艶島さんはその一方で、パソコンでつくった星座物語一紙芝居ならぬ、生語りの電子紙芝居を始めました。

車も次々とやってきて、家族連れ、カップルが、「天の川」や「七夕の星」を見ようと集まってきます。観測室は、文字通り、足の踏み場もないほど人であふれかえってしまいました。そうこう忙しいなかにも問い合わせ電話や道順を訪ねる電話がかかってきます。ミューイ天文台からも電話がかかってきました。「高田くーん、明るか人工衛星見たね〜」「わーっ、木戸さん、今それどころじゃなかけん、もう切りますよ。」2人では、とてもさばききれないので、中島先生宅に電話をかけると、幸運にもビールを飲む前だったので呼び出すことができました。

空は薄雲で、2等星がcaろうじて見える程度でした。それでも、織女星、牽牛星を説明してあげると、喜んでくれます。お客さんと話していると「七夕の日しか天の川は見えない」という勘違いをしている人が多いことに気づきました。きっとマスコミで「今日七夕の日は天の川がみえます」なんて言っていることが影響しているのでしょう。

午後10時近くになって、お客さんが減ってくると、ベガ、アルタイル、アルビレオと望遠鏡をふって、恒星を見てもらいました。

来台者の数、名簿で102名記載されていましたが。名前を書いていない人もいたので実数はもっと多いでしょう。

台長は、何回も電子紙芝居を話して続けて、もう最後には何も考えなくても、言葉がひとりでも出ていくようになったと言っていました。

11時前に天文台を出ようとする、20歳ぐらいの女性のお客さん2人が見えました。すでに、スライディングルーフは閉めた後だったので、小型双眼鏡で月を見てもらいました。「もし月がなくて晴れてると、天の川はこーんな風に見えますよ」と教えると「わーん、天の川、見てみたいね」と、そのイントネーションがどこかで聞いたようなので、ほんのちょっと考えると、そういえば九女短天文部の彼女らも同じようなしゃべり方をしていたな、と、もう遠くなった昔の記憶がよみがえりました。

おしまい

00  
(.)  
(☆)





## 6月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 5日/30日=16.7% 来台者 28名

| 日付     | 天気  | 来客数  | 運営担当                | 記事                             |
|--------|-----|------|---------------------|--------------------------------|
| 5 (金)  | 晴れ  | 0    | 西嶋、長谷、立川            | せっかく来たのにコミックを読みふける教育者2人であった。   |
| 7 (日)  | くもり | 0    | 艶島、高田、甲斐、中尾(小)      | 艶島さんのたいそう教室<br>柔軟、バランス腹筋       |
| 13 (土) | 曇   | 0    | 艶島、中島、小林J、小林昌、甲斐、高田 | トークアバウト                        |
| 27 (土) |     | 20数名 | 中島                  | 豊野少年自然の家から不登校児とALTの宿泊研修        |
| 28 (日) | 雨   | 8名   | 艶島                  | 西原村の村おこしグループが来台「星の楽しみ方」の勉強会だった |

### 「たなばた」にて

高田祐一

7月7日火曜。朝から「今日七夕は、西日本は晴天なので、きっと天の川が見れるでしょう」というようなことを二ユースや天気予報でキャスターが口癖のようにさんざん言っていて、「なんば言よっかい。こしこ月がでかつに見れるはずがなかでしよ」(中島先生風)と冷たくあしらいながらも、会社に行くため車に乗り込んだら、「さあ、今日は七夕ですね、天の川はみえるでしょうか？」とラジオでも特集の音楽を流していたりして、もうその時点で、うわーっという予感にとりつかれました。

「こりゃ、天文台はたいぎゃな、お客さんのおおかばい」

今年になってから天候不順の夜が続き、お客さんが少ない日が続きました。ところが梅雨があけてから一転、良い天気が続きお客さんが増えてきて、これから稼ぎ時の夏を迎える、その矢先のことでした。

TO:艶島さん 七夕をマスコミでさんざん流してますから、火曜日でも天文台開けないといけないみたいです。自分も運営に行きます。

会社から艶島台長宛に、電子メールを出しました。



6月終わりにセミの声、もう夏です。なんとこの蒸し暑いこの時期に、車のエアコンが壊れてしまいました。暑い、すごく暑い。最悪だったのは先日の雨の日。エアコンが動かないし、豪雨で窓は開けられない。窓が、フロントガラスが、曇る～。危ないのです。フロントガラスはタオルで拭けても後ろ窓までは手が～。

\* 万円の修理が・・・。おや、今のラジオで鹿児島・宮崎梅雨明け！！どうせなら熊本も梅雨明け、いやいや、夏飛び越して秋にしてくれー。

## ☆ 8 月の天文現象 & 行事 ☆

4 日 (火) みずがめ座流星群が極大のころ

8 日 (土) 立秋 (02:20) 満月 (11:10)  
トークアバウト (20:00～)

13 日 (木) ペルセウス座流星群が極大

15 日 (土) 下弦 (04:48)

20 日 (木) はくちょう座流星群が極大のころ

22 日 (土) 西日本で部分日食 新月 (11:03)

28 日 (金) 旧七夕

30 日 (日) 上弦 (14:07)

31 日 (月) 水星が西方最大離角 (18°10'.6 -0.2等 18:12)

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1998年8月号 通巻281号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作

ホームページ [http://denouken.kmt-technopolis.or.jp/KUMA/KCAO\\_TST.HTML](http://denouken.kmt-technopolis.or.jp/KUMA/KCAO_TST.HTML)